

# V章 調査研究・学会発表実績

## 1 その他の調査研究事業

令和3年度

学会等の名称	題目・論旨（担当課名）	著者名 （発表者名）等
<p>第67回 大分県公衆衛生学会</p>	<p>題目：関係機関と連携した医療的ケア児の避難準備性の強化に向けた取組</p> <p>論旨：平成27年から「医療的ケア児支援定例会議」を開催し、本会議を中心に令和2年度に「医療的ケア児災害時個別支援票」を作成、同年12月に運用を開始した。個別支援票が作成できたケースに対し、関係機関と個別支援票を元に実際に避難訓練を行い、取組過程の振り返りと今後の災害対策の強化に向けた取組を検討した。 要点としては、(1)市関係課と取り組めたことで、連携が深まり、さらに市全体の個別避難計画の作成にも波及が期待できる。(2)今後は地域の支援者を巻き込んだ展開が必要。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p> <p>題目：新型コロナウイルス感染症の疫学調査結果を事業所の健康づくりに活かした取組</p> <p>論旨：新型コロナウイルス感染症第5波の管内の陽性者の積極的疫学調査結果を事業所の健康づくりの視点での分析し、その結果を活用したセミナーを開催した。セミナーは、事業所に対して単に感染対策を求めるのではなく、実際に発生した状況と平素から実施している従業員の喫煙や生活習慣病対策と関連させる内容にしたことにより、青壮年期の健康づくりの取り組みを推進するきっかけになった。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p> <p>題目：北部圏域におけるCOVID-19第5波の実態と課題 ～今後の体制整備に向けて～</p> <p>論旨：COVID-19第5波（令和3年7月12日～9月30日）の期間について、患者の発生动向及び療養先の推移、挙げられた課題やその後の取組結果を整理し、今後の体制整備に向けた要点について考察。 要点としては、(1)体制強化基準の設定、(2)所内体制の可視化と受援体制の整備、(3)自宅療養者への医療提供体制の構築、(4)システム活用による業務効率化の推進の4点があれば、第6波で実際に運用し成果をあげている。今後はさらなる体制整備が進むよう検討を続ける。</p> <p style="text-align: right;">(健康安全企画課)</p>	<p>○ 大塚 亜由美 大前 雛乃 鈴木 麻理鈴 首藤 佐織 吉富 豊子 山下 剛</p> <p>○ 首藤 佐織 大前 雛乃 鈴木 麻理鈴 大塚 亜由美 吉富 豊子 山下 剛</p> <p>○ 芋迫 英里香 首藤 佐織 坪根 亀代子 吉富 豊子 山下 剛</p>
<p>令和3年度環境衛生 監視員等事例研究発表会</p>	<p>題目：産業廃棄物処理業者に対する戦略的指導について</p> <p>論旨：8年以上産業廃棄物を放置していた事案に対して、事業者に対する撤去指導にとどまらず、様々な取組を行った結果、産業廃棄物を完全に撤去させることに成功した事例について報告したもの。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>	<p>○ 石本 亘 坂本 光 橋本 啓一 山下 佳史</p>
<p>令和3年度全国動物管理 関係事業所協議会 九州ブロック</p>	<p>題目：北部保健所における猫に対する取組と不審死事案1例について</p> <p>論旨：所有者のいない猫に不妊手術を施す「おおいたさくら猫プロジェクト」を開始するとともに、自活できる所有者のいない猫の引き取りを原則拒否することとした結果、北部保健所における所有者のいない猫の引き取り数が約79%減少した。また、猫の不審死事例1件について事件内容を報告したもの。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>	<p>○ 石本 亘 坂本 光 橋本 啓一 山下 佳史 宇都宮 公平</p>
<p>第44回（2021年度） 大分県看護研究学会</p>	<p>題目：高齢者施設におけるオムツ交換時の感染対策の現状と課題</p> <p>論旨：北部保健所管内の高齢者施設におけるオムツ交換時の感染予防対策について実態調査を行い、現状と課題を把握、今後の支援のあり方を明らかにした。今後の課題として、有資格者の配置が無い施設を中心に、管理者をはじめ施設全体に正しい知識を普及し、感染対策に対する意識を変える取組、適切な在庫管理ができるよう働きかける必要がある。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>	<p>○ 齋藤 百有子 溝部 有紀 岩永 章太郎 荒金 翔子 吉田 佳世 坪根 亀代子 吉富 豊子 山下 剛</p>